

今月の題字



熊野第三小学校 6年生
竹内 晴香さん

町の人口と世帯数

平成19年4月30日
(前年同月比較)

人口：25,829人 (- 73)
男：12,559人 (- 29)
女：13,270人 (- 44)
世帯数：10,171世帯 (+ 95)

ミニギャラリー

熊野第三小学校 6年2組作品



【評】学年始めに新たな気持ちで自分の顔を描きました。自分の顔の画像を写し取り、輪郭から細部に至るまでそっくりに仕上げることででき、学級目標のまわりで輝いています。

熊野第三小学校 6年 坂本 唯



【評】6年生になって初めての習字で、一画一画丁寧に書きました。止め、はね、払いの部分に、とても気を配って仕上げることができました。

熊野の自然 (213)
ウラジロマタタビ
(マタタビ科)



マタタビの名が付いていても、マタタビではなくサルナシの変種で、葉の裏が粉白色のものです。ウラジロサルナシの名前なら解りやすいのと思います。葉は互生。葉柄は長く、しばしば淡紅色を帯びています。落葉する性の木で、つるは長く伸び20〜30mにも達し、直径は10〜15cmほど。表皮は褐色で、裂けてはがれているのが特徴です。つるは腐りにくく粘りがあるのを筏を組んだり吊り橋に利用してきました。有名な徳島県の「祖谷のかずら橋」は、サルナシやウラジロマタタビのつるを使っ

て作られています。花は5〜6月。5弁の白い梅のような花は直径1〜1.5cm。雌花は葉の脇から1個ずつ、雄花や両性花は数個集まってついています。雄しべは多数で、花粉を出す葯が暗紫色です。

実は親指の先ほどの俵型で、熟すと緑がかつた肉色。毛のない小型のキウイのようです。石岳山で食べた完熟した実がとても美味しかったのを覚えています。果実酒にも珍重されます。「猿梨」は、猿が好んで食べる梨のような実の意味です。

関東以西の山地に自生し、熊野町ではマタタビより多く見かけます。マタタビの葉は薄く、花の頃白変して目立ち、花の葯は黄色。実は先のがつた円筒型です。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ
広告掲載募集！！

広告掲載料金には、割引があります。
(但し、1回の申込で3月分以上の申込が条件。)

月数	割引率
3月以上6月未満	5%
6月以上9月未満	10%
9月以上12月未満	20%
12月	30%

※ 詳しくは、総務課 TEL820-5601



4月から熊野町ホームページをリニューアルしました！
すっきりとさわやかなホームページに広告を載せてみませんか？

←リニューアルした熊野町ホームページ



「広報くまの」は再生紙に「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。

